

令和6年度 第4回 在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会
多職種でつむぐACP～人生会議が「わかる！」から「できる！」へ～ 実践編(11/15)アンケート結果

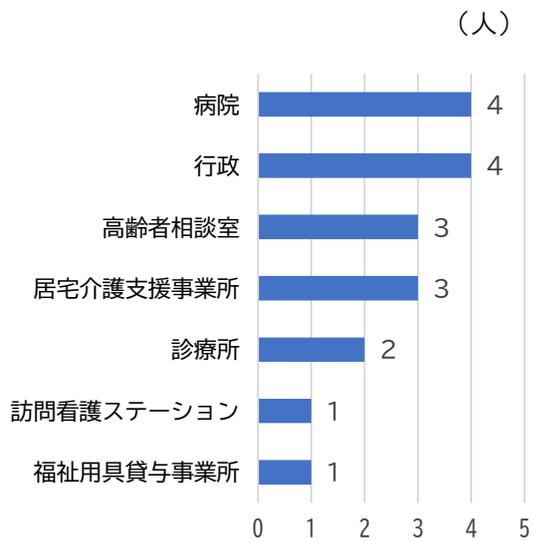
日時 令和6年11月15日(金) 18:30～20:30

場所 呉市役所7階 752・753・754会議室

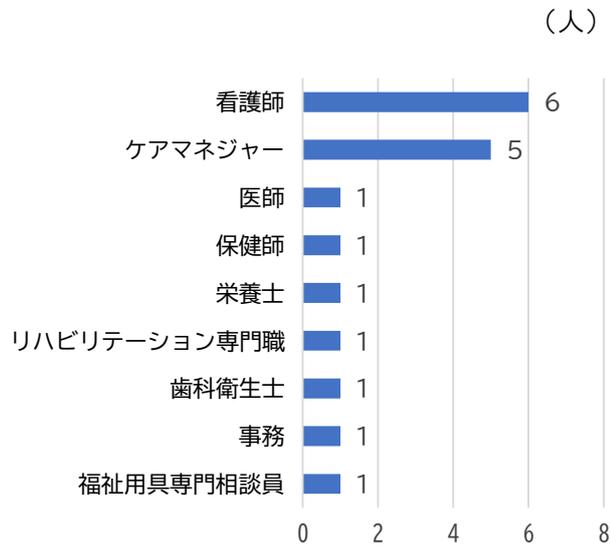
参加者数 30名(うち基礎編参加者21名)

アンケート回収数(回収率) 18名(60%)

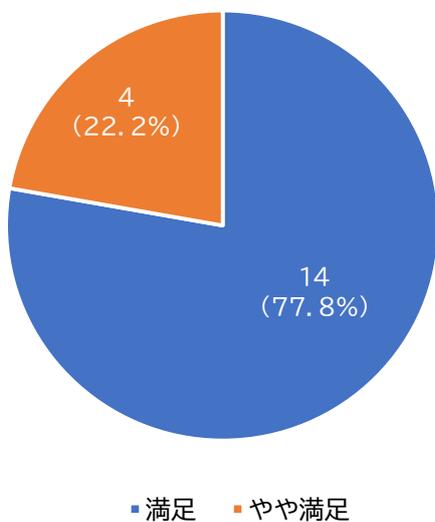
1. 所属機関



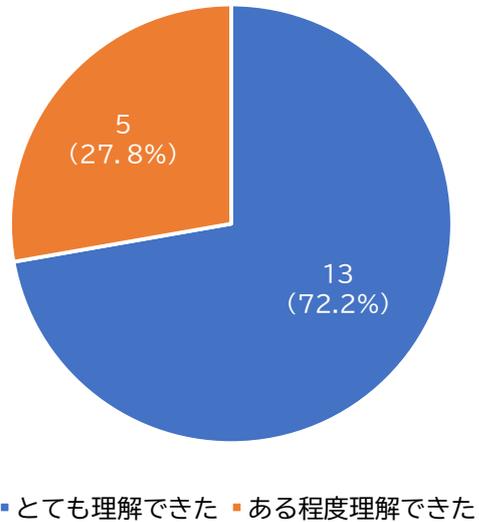
2. 職種



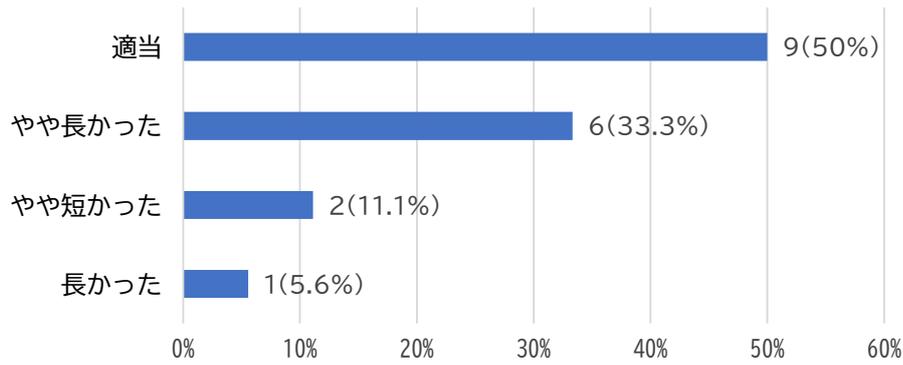
3. 本日の研修はいかがでしたか。



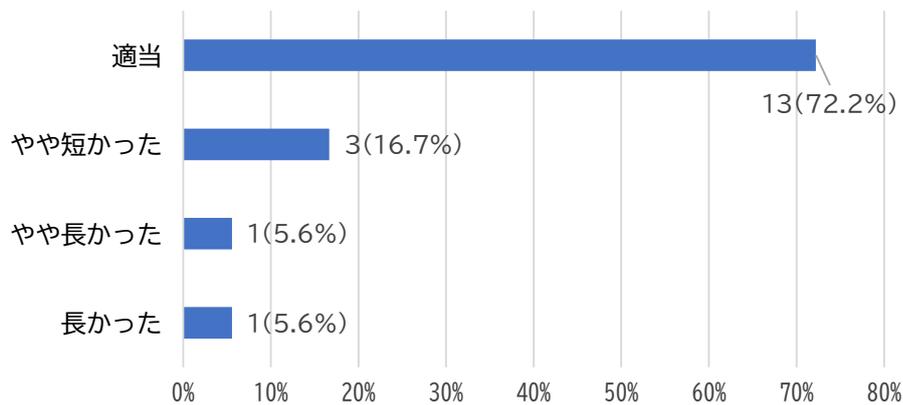
4. 「基礎編の振り返り」について、理解できましたか。



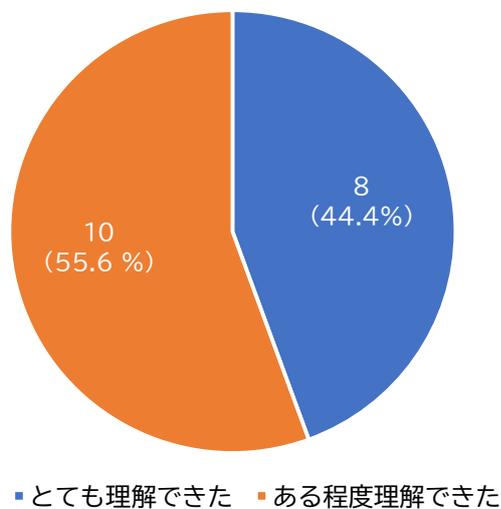
5. ロールプレイの時間は適当でしたか。



6. グループワークの時間は適当でしたか。



7. 本研修を通して、「人生会議や意思決定支援のポイント」が理解できましたか。



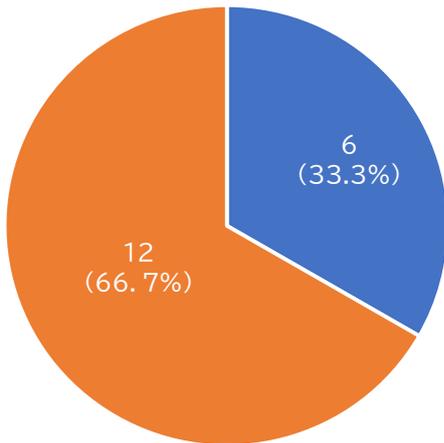
8. 理解が難しかった点があれば、具体的に教えてください。

回答なし

9. 本研修に参加し、人生会議を行ううえで重要であると感じたことを教えてください。

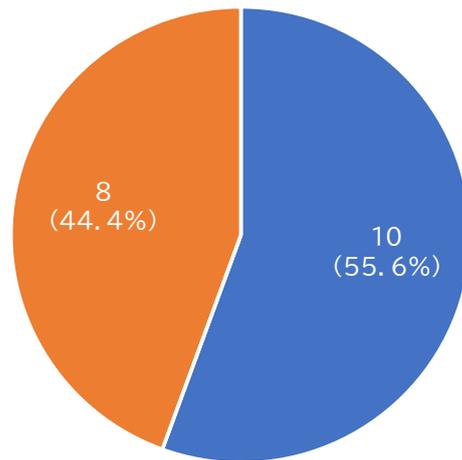
- ・結論は出なくていいから、日々の中で話し合っていく
- ・本人や家族との関係構築
- ・関係性の構築、医療者側の価値観を押し付けない
- ・ご本人の想いを尊重しつつも、家族の想いも受け止める。答えがないことであるという難しさを感じました。
- ・関係性を気づくことを諦めず、本人の意思を大切に関わって行きたいと思います
- ・意思確認
- ・思いを受け止めること
- ・本人との関係性
- ・答えを出そうと焦らず、寄り添う姿勢
- ・今まで1度の会議でやりきらなきゃと考えていたところがあったが、その時その時で気持ちや考えが変化するし、今まで考えたこともなかった人が、支援者の問いかけにより考えるきっかけになったりすることを知れたので、焦らず、少しずつそのような場を持てるようにしたい。
- ・本人の想いを聞くための関係性作りと、急いで答えを出すのではなく、一緒に考えて行きましょうという寄り添う気持ち
- ・お互いの信頼関係
- ・人生会議をすると、意気込むと質問責めになってしまう為、本人の要望をうまく引き出すことが、結果的に人生会議になると感じた
- ・支援者側の質問の仕方や聞き方が重要だと感じました。支援者側の聞き方次第で、相手の返答が変わる事を実感できました。また、一緒に考えましょうの姿勢でいたいと思いました。
- ・何かを決めるというより考える事が大切だと
- ・話をするきっかけやタイミングを上手くつかんで言葉がけをすること、いっぱい話をする事が重要だと思いました。
- ・話しあう事の必要性。改めて会議を行うのではなく、きっかけを作って楽しく話ができる環境作りが必要。
- ・本人との関係性、距離感が重要で意識化できていない当事者もあることから複数回の実施も考えられ、長い期間を要すると感じた

10. 本研修会に参加し、人生会議に対してどのように感じましたか。



- ぜひ職場等で、人生会議について取り組みたいと思った
- 人生会議に関する理解を深めることができたので、取り組めるところから取り組みたい

11. 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか。



- 大いに活かせると思う
- 活かせると思う

12. 今後希望する研修会のテーマ等について、自由に御記入ください。

・退院時の模擬カンファレンスとか

13. その他、御意見や御感想がありましたら、自由に御記入ください。

- ・今日の重要なスライドも手元にプリントが欲しかったです。貴重な研修をありがとうございました。
- ・実際にロールプレイしてみて、気づくことも色々あり勉強になりました。
- ・研修の企画、ありがとうございました。まずは自身のACPIに取り組んでいきたいと思いました。